

学会の前身である校友会(後に院友会と改称)は1888(明治21)年に設立され、120余年を経た現在では学会が公認する学会支部は217(2009年11月1日現在)を数えています。このコーナーでは、これらの支部の中から特色ある支部や活発な活動を展開している支部を取り上げていきます。

白門の朋

中央大学学会 札幌支部

(支部長 和田 丈夫さん)

今回は、全国に100以上ある地域支部の中から長い歴史と活動実績をもつ札幌支部について紹介いたします。

北海道には、札幌、函館、小樽、旭川、室蘭、釧路、帯広の7支部がありますが、なかでも札幌支部は、明治31年に「東京法学院院友会北海道支部」として発足以来、実に1世紀余にわたって様々な事業と活動を展開してきました。

8月の総会、12月の忘年会、年3回のゴルフコンペの開催など、支部会員相互の親睦と交流を図りつつ、文化・学術講演会、本学音楽研究会吹奏楽部による演奏会など多くの文化活動を通して支部会

員のみならず在学生父母で組織されている「父母連絡会札幌支部」との連携や道内の他支部との交流を図っています。また、地域の各種イベントに支部として参加して交流を図るなど地域の発展にも貢献しています。

和田支部長は、Webサイトの挨拶の中で、さらなる支部活動の活性化を目指して「各卒業年次や職域毎の組織づくりを活発にし、後に続く後輩と手を携えて母校の発展に寄与したい」と力強く語っています。



2003年(平成15年)札幌・小樽支部交歓会



2009年(平成21年)第33回ゴルフコンペ

中央大学学会への ●入会のすすめ

中央大学は、卒業生を「學員(がくいん)」と呼び、學員たちと、母校の興隆と発展に寄与するために創設されたのが、同窓会組織の「中央大学学会」です。

設立は、中央大学の前身、英吉利法律学校が1885(明治18)年に創立された3年後の1888(明治21)年、2009(平成21)年で121周年を迎え、国内・海外に217支部を有します。

当会は、伝統と国内有数の規模を誇る學員のネットワークをベースに、様々な事業と活動を通じて、全ての學員の躍進のために「Sympathy(親愛)・Support(支援)・Square(交流の場)」の3Sを提供していきます。

学会の活動および学会が提供する各種サービスは、學員の皆様から納入いただいた学会費(維持会費・年会費)によって運営されています。何卒、ご趣旨をご理解の上、ご入会いただきますようお願い申し上げます。

なお、詳細は別冊の「中大生涯活用BOOK—GAKUIN 2010—」をご覧ください。

■ 住所・勤務先・氏名の変更手続きについて

學員ネットワーク課にご連絡をお願い致します。

〈電話〉 03-3219-6172

〈インターネット〉中央大学トップページ(www.chuo-u.ac.jp)

→ 卒業生の方へ → 住所変更

広報室 ●より

『中央大学の近況』第2号はいかがだったでしょうか？

創刊号に同封したアンケートはがきのうち、6,666名の方より返信があり、そのうち約75%の5,001名の方が「有益であった」との回答でした(下表参照)。

広報室では、このアンケート結果をふまえ、なかでも比較的数の多かった「学部・学科の近況を記載してほしい」、「中大グッズの紹介ページがほしい」、「活躍している卒業生を紹介してほしい」、「昔の写真や記事をもっと掲載してほしい」、「反射が強くて読みにくい紙なので改善してほしい」等の意見について検討し、今回の誌面に反映しました。

本誌は現在のところ1年に2回の予定で発行し、皆さまにお届けします。今後も、懐かしい大学の近況や改革の状況など、写真等もふんだんに取り入れて制作し、読みやすく、楽しめる誌面づくりを目指しますので、ご意見・ご感想等があれば、ぜひお寄せください。

Q. 本誌はあなたにとって有益でしたか

